

執筆者紹介

賀川光夫	別府大学文学部教授
西川杏太郎	東京国立文化財研究所長
石澤良昭	上智大学歴史文化研究所教授
後藤宗俊	別府大学文学部教授
菊田徹	臼杵市教育委員会文化課課長補佐
仲嶺真信	別府大学文学部助教授
飯沼賢司	別府大学文学部助教授

◆ 編集後記 ◆

この度、本誌において史学科創立30周年記念特集を組むことができましたことは、史学研究会関係者の甚だ喜びとするところであります。

記念企画で焦点が当てられた臼杵磨崖仏は、周知の通り大分県が国内外に誇る文化遺産であります。今回、史学科がこれをテーマに掲げたのは、地域社会に根ざしながら広く国内外を視野に入れた教育学的研究を目指そうとする史学科の指針を標榜したものといえましょう。

本会の目指すところは別府大学史学の確立にあり、それはまた史学科に課せられた課題でもあります。今回の記念事業が史学科、引いては本会の更なる発展の契機とならんことを期待したいと思います。

なお、今号の編集に当たり、論文タイトルの英訳とパネルディスカッションの録音再生に関し、それぞれ史学科の利光正文先生と付属博物館職員の七森寛子さんのご尽力をいただきました。末尾で恐縮ですが、深謝申し上げます。